



RI会長 ステファニー・アーチツク
2640 地区ガバナー 野村 壮吾

2024-2025年

Rotary District 2640 Japan



創立50周年
ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

海南東ロータリークラブ

会長 田岡 郁敏 幹事 楠部 均 SAA 前田 誠吏

第 2211 回例会

2025 年 3 月 10 日(月)



海南商工会議所 4F 12:30～

お誕生日、結婚記念日のお祝い

ゲスト卓話 高野山高校校長

医王寺 住職 橋本 真人 様



1. 開会点鐘

2. ロータリーソング

「我等の生業」

3. ゲスト紹介

高野山高校校長

医王寺 住職 橋本 真人 様

4. 出席報告

会員総数 40 名 出席者数 24 名

出席義務規定適用免除会員 2 名

出席率 63.16% 前回修正出席率 68.42%

5. 会長スピーチ

会長 田岡 郁敏 君

皆さんこんにちは。

やっと少し春を感じる季節になってきました。また、それと引き換えに花粉症をお持ちの皆様にとっては大変な季節になりました。先週は多くのニコニコを頂き、本当にありがとうございました。今後も、よろしくお願いいたします。



本日はゲストに高野山真言宗、紀美野町吉野にある醫王寺の住職の橋本真人(はしもと しんにん)様をお迎えしております。橋本様は昭和37年に大阪府にお生まれになり、昭和60年高野山大学文学部密教学科をご卒業の後、母校高野山高校で教鞭をとられました。橋本様は醫王寺の住職をされていらっしゃる一方で、現在その高野山高校の校長もされており住職と教育者と二つの顔をお持ちになっておられます。本日はお彼岸が近づいてきていますが、「彼岸を迎えるにあたって」と題しましてお話ししていただく予定です。後ほどよろしくお願いいたします。

昨日ホテルアバローム紀の国に於きましてロータリー財団補助金管理セミナーが開催され上野山次期財団委員長、宇恵今期財団委員長と私の3名が参加してまいりました。

この財団補助金管理セミナーは次年度の補助金申請にはマストな会議となっており、また毎年収めてい

ただいている財団への寄付金が、地区から降りる補助金の基準となっております。2年前のデータが参照されることになっており、当クラブの実績は106ドルでした。

現在、私たちのクラブは財団補助金を活用してフィリピンセブ島のマングラウエ イースト ロータリークラブと共同で、最近では小学校の手洗い場の設置事業など水に対する事業を多く行っています。今年も今週末曜日から6名でセブを訪問し状況を視察し寄付金を贈呈することになっています。セブ島というリゾート地で確かに景色はいいのですが一歩町を離れるとスラム街など貧困な地域が存在し特に多く点在する島では真水がほとんど確保できない状態になっています。

私も今回3回目の参加になりますが、コロナの影響もあり訪問は7年ぶりになります。セブ島は実に縦長の島で移動が大変で、視察はいつも強行日程で疲れます。リゾート地で遊びに行くのではと思われがちですが過去、家族全員で行った時も残念ながら現地で遊んだ記憶が1日ぐらいいきません。ただ訪問した時の現地のこども達の曇りのない明るい笑顔にいつも癒されて帰ってきます。

海外奉仕事業は私達クラブにとって大きな特徴であり、非常にやりがいのある事業であると思います。是非今後とも継続していきたいと考えています。最後に、今期今のところまだ新入会員を獲得できていない状況です。会長として非常に申し訳なく感じています。今後の活発な事業を行う上でも増強は重要だと思います。

今一度身近にいるロータリー精神に共感していただけそんな人材をご紹介いただければと思います。

6. 幹事報告

幹事 楠部 均 君

特にありません。

3月は「水と衛生月間」です



四つのテスト 貴方はこれにたっていますか

① 真実かどうか ② 好意と友情を深められるか
③ みんなに公平か ④ みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002

海南市日方 1294 (海南商工会議所 4F)

TEL:073-483-0801 FAX:073-483-2266

<http://www.kainaneast-rc.jp>

E-mail: info@kainaneast-rc.jp

7. ゲスト卓話

高野山高校校長
医王寺 住職 橋本 真人 様

高野山高等学校について

私は、現在、高野山高校の校長をさせていただいております。「生徒は学校の歩く広告塔」と言われます。つまり、生徒の姿を見れば学校の全体像が一目瞭然ということです。高野山高等学校は内部充実に推進し、生徒が誇りと自信をもって「入学してよかった」と言ってもらえる学校創りに取り組んでいます。



「学校力を高める」「趣意」「心の時代」が叫ばれて久しいですが、その内実の実践教育に努めることが、高野山真言宗の宗門校である本校の大切な役割です。まず、身のこなし美しく礼儀正しくあれ。礼儀正しさは見る人を爽快にさせるから。さらに、口にはいつも「ありがとう」を。この言葉は言う人と聞く人の魂を浄める作用がある。意(こころ)に他人を思いやる優しさあり。優しさは仏さまからすべての人に与えられたもの。自分に誇りを持ち、自信をもつ者は人格に優しさがにじみ出てくる。上記の校訓を胸におき、「学校力を高める」ことを主眼として、特に次の三点について誠意のある取り組みをお願いいたします。

現状と向き合う



近年、本校は寺院子弟の入学数減少に見舞われ、かつてのような寺院後継者育成機関としての役割だけでは生き残れない現状にあります。以前は全校生徒の三分の一程度を有していた寺院子弟も現在一割程度まで減少しました。この状況を改善するには、寺院子弟育成に加えてお大師さまが掲げられた総合教育、人間教育を柱として、いかに一般生徒を集められるかが鍵となります。部活動の強化を呼び水に

現在、本校で生徒数を順調に確保できているのは野球部です。二年前に甲子園出場経験のある本校卒業生が監督に就任以来、着実な部員確保が実現しています。あとは公式戦で強豪校と競り合い結果を出すことが最大の課題です。また、女子ハンドボール部本校卒業生が今春、監督に就任し部員確保に奔走中で、徐々に成果があらわれています。女子寮のリニューアルにより、県外からの同部入学希望者が一泊入寮体験で寮内の設備に感動して入学を決めてくださった事例もありました。

今後、「高野山高校の運動部に入部したい」との声が聞こえて来るような部活動の強化を図り、生徒数の底上げにもつながってきたいと思います。

転編入生の受け入れ

転編入生の受け入れに注力してまいりました。何らかの事情から高校を中退した(中退を考えている)生

徒へのアプローチを強化し、昨年は十人、今年は六人が転編入学いたしました。お大師さまが『綜芸種智院式』で教示なされた、「教育の機会均等」「済世利人」の精神を学校現場で生かしてこそ本校の存在意義があると思っています。不登校で悩まれている方で、環境を変えお大師さまのお膝元で学んでみたいと思われる中学生・高校生がお近くにいらっしゃいましたら、本校が何らかのお手伝いをさせていただきます。ぜひともお声がけください。

国際教育の推進

世界遺産高野山にある学校の特色を生かすために、「小さな国際化」の推進を掲げて国際教育に取り組んでいます。朝陽義塾日本国際高校(上海)からの留学生に加え、昨年はアメリカから留学生を迎えることができました。留学生と学校・寮生活を共にすることで友情がめばえ、教室からは、時折日本語に交じって中国語、英語が聞こえてまいります。このような日常環境が無意識の中で生徒の国際性を育み、世界遺産高野山における学びの一助となることを願っています。また、前述の朝陽義塾日本国際高校、セントモニカカトリック高校(ロサンゼルス)、アルアミンゴンバクイスラム高校(マレーシア)の各校と教育交流協定を結び、生徒を短期留学等で派遣しています。

結びに

「境は心に随いて変ず」(環境は心にしたがって変わり、また心は環境にしたがって変わる)。このお大師さまのお言葉は、本校教育の根幹につながる玉言です。「高野山という唯一無二の環境ですばらしいものを学び、心の成長を遂げて卒業してほしい」というのが願いです。

8. 閉会点鐘

次回例会

第 2212 回 2025 年3月 17(月)

海南商工会議所4F 12:30～

会員卓話 (株)なかモーター自工

田中 祥秀 君



ニコニコ・BOX

田岡 郁敏 君

橋本真人様、本日は卓話よろしくをお願いいたします。

楠部 均 君

〃

榊原由希子 君

〃

寺下 卓 君

橋本様、本日は卓話宜しくをお願いいたします。

田中 祥秀 君

本日は卓話、お忙しいところありがとうございます。本日よりよろしくお願いいたします。

The
Rotary
Foundation



世界でよいことをしよう

